

部局名	安全環境部			所属名	消費生活センター			所属長名	吉野 和茂			電 話	485-0559		
-----	-------	--	--	-----	----------	--	--	------	-------	--	--	-----	----------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3848		事務事業名称		消費生活センター維持管理事業						短縮コード		経常	3848		臨時	4092		
予算区分		会計	01	一般会計		款	03	民生費			項	01	社会福祉費			目	06	市民生活費		
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				根拠法令等														
		☐ その他																		
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																				
昭和50年消費生活センター設置に関する請願採決を受け昭和52年6月勝田台に開設し、勝田台文化センター建設に伴い昭和60年11月大和田に移転し、平成18年度4月の組織改正に伴い市役所第2別館内に移転しセンター内部の設備の維持管理を行っている。																				
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 旧施設の老朽化により移転はしたが、センタースペースが狭い等改善を要す。						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		03	安全・環境共生都市をめざして										
							大項目（節）		02	消費者行政										
							中 項 目		01	消費者行政										
							小項目（施策）		02	消費者利益の保護										
							細 項 目		03	消費生活センターの充実										
実施計画の計画事業																				
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～				計画事業費		千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）			消費生活センター内部設備の維持管理				
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）			※平成19年度に実際に行ったこと： (1) 通信運搬 (2) 保守点検業務委託				
			※平成20年度に計画していること： (1) 保守点検委託 (2) 通信運搬 (3) 使用料及び賃借料				
意図 （何を狙っているのか）			不具合を出さない、不具合発生時に迅速に対応する。				
結果 （どんな結果に結びつけるのか）			入力対象外				
区 分			単位	1 8 年度	1 9 年度		2 0 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	面積	m ²	47	47	47	47
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	対象面積	m ²	47	47	47	47
	指標 2	修繕件数	件	0	1	0	1
	指標 3						
成果指標	指標 1	迅速に対応できた件数/不具合発生件数	件	0	1	0	1
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		3848	事務事業名称	消費生活センター維持管理事業			所属名	消費生活センター
			単位	１８年度	１９年度		２０年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	392	261	220	442	
		その他	千円	0	0	0	0	
	主な事業費の内訳			委託料 140千円 使用料及び賃借料 235千円	委託料 171千円 通信運搬 45千円	複写機委託料 35千円 廃薬品処理委託料 120千円 通信運搬 34千円	委託料 51千円 通信運搬 231千円 使用料及び賃借料 139千円	
	人件費(B)			千円	2,199.3	2,196.2	2,191.9	2,191.9
トータルコスト(A)+(B)			千円		2,591.3	2,457.2	2,411.9	2,633.9

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「消費者利益の保護」を推進するため、消費生活センター維持管理事業を実施している。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		市役所第２別館内に置ける消費生活センタースペースが狭いため改善が必要。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		センター内部設備の維持管理のため、民営化はできない。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象・意図により不具合発生時に対応できる。				
			☐ 見直す必要がある						
☐ 評価対象外事項									
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性がある						
			☐ 効率性向上の可能性がある						
			☐ 両方可能性がある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、 具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		市役所第２別館内センタースペースが全体的に狭く使いにくいいため、改善を図ることにより消費者（市民）が相談など安心して使いやすくなる。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 （所管部署）	
			☒ 上記以外の方法					2	
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		既存施設のため改善のため費用が必要。		
	☐ ない								

コード	3848	事務事業名称	消費生活センター維持管理事業			所属名	消費生活センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			消費生活センターの全体スペースが狭いため改善しスペースの確保が必要である。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☒ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			改善を図ることにより消費者（市民）が、相談など安心して使いやすくなる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市役所第２別館に移転した事により市民に判りやすく、利用しやすくなったが、全体的に狭いため改修が必要	

所属長コメント	全体のスペース（事務室・相談室等）が狭いため改善の必要がある。但し、本年中事務室の改修工事が行われる予定で、改善される事が見込まれる。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	２０年度にセンタースペースについて改善を図っている。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☒ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		